

令和4年5月30日

【照会先】

神奈川県労働局 職業安定部 職業対策課
課長 福本 秀
課長補佐 柳原 江理子
地方障害者雇用担当官 佐藤 貴紀
(電話) 045(650)2801

「もにす認定制度」において 神奈川県で新たに1社が仲間入りしました！！

～障害者雇用に取り組む優良中小事業主が12社になりました～

厚生労働省では、令和2年4月より「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づく「障害者雇用に関する優良な中小事業主に対する認定制度（通称 もにす認定制度）」を創設、実施しております。

このたび、神奈川県労働局（局長 西村 斗利）では、以下の企業を「もにす認定企業」として認定しました。

< 認定事業主 >

令和4年5月30日認定

○ 日本理化学工業株式会社

所在地：神奈川県川崎市高津区久地2丁目15番10号

従業員数：93人（障害者雇用率の算定基礎となる数91人）

雇用障害者数：90人（障害者雇用率の算定基礎となる数64人）

障害者雇用率：98.9%

※令和3年6月1日現在



認定マーク【もにす】

共に進む（ともにすむ）という言葉に由来し、企業と障害者が共に明るい未来や社会に進んでいくことを期待し、名付けられたものです。

もにす認定制度とは、障害者雇用の促進及び雇用の安定に関する取り組みの実施状況などが優良な中小事業主を厚生労働大臣が認定する制度で、令和2年の4月から実施しています。

この認定制度により、認定企業が障害者雇用における身近なロールモデルとして認知されることで、地域における障害者雇用の取り組みの一層の推進が期待されます。

また、認定されると、自社の商品・サービス・広告などに「認定マーク」を表示することができ、日本政策金融公庫の低利融資対象となるほか、神奈川県労働局ホームページへの掲載など、周知広報の対象となるなどのメリットがあります。

認定事業主一覧（申請日順）

【令和4年5月30日時点】

No	事業主名 ※は特例子会社	所在地	認定年月日	業種
No. 1	富士ソフト企画株式会社※	鎌倉市	2020/12/24	情報サービス業
No. 2	藤沢市資源循環協同組合	藤沢市	2020/12/24	一般廃棄物収集・選別・加工等
No. 3	ダンウェイ株式会社	川崎市	2020/12/24	障害福祉、教育、サービス
No. 4	第一三共ハピネス株式会社※	平塚市	2021/3/29	グループ会社内サポート業務
No. 5	株式会社ロジナス	逗子市	2021/3/29	情報サービス業
No. 6	株式会社ビーネックスウィズ※	相模原市	2021/3/29	フラワーアレンジメント事業・ステーションナリー事業・アウトソーシング事業
No. 7	ビーアシスト株式会社※	相模原市	2021/6/24	グループ会社の障がい者支援、業務支援
No. 8	富士通ハーモニー株式会社※	川崎市	2021/8/6	オフィスサポート業務 ヘルスキープング業務
No. 9	株式会社エスエフソリューションズ	横浜市	2021/8/6	ソフトウェア受託開発 訪問介護サービス
No. 10	株式会社大協製作所	横浜市	2021/10/25	亜鉛・ニッケル合金めっき、 カチオン電着塗装
No. 11	イマジネーション株式会社	横浜市	2022/3/30	情報サービス業
No. 12	日本理化学工業株式会社	川崎市	2022/5/30	その他の製造業

詳しい制度の内容につきましては厚生労働省ホームページ内「障害者雇用に関する優良な中小事業主に対する認定制度」のページをご確認ください。



障害者雇用に関する優良な取り組みを行う 中小事業主への認定制度を始めました！

「障害者雇用に関する優良な中小事業主に対する認定制度」は、厚生労働大臣が障害者の雇用の促進や安定に関する取り組みなどの優良な中小企業を認定する制度です。

認定事業主となることのメリット

● 認定マークを使用できます！

自社の商品・サービス・広告などのほか、ハローワークの求人票に障害者雇用優良中小事業主認定マークを表示することができます



● 厚生労働省・都道府県労働局・ハローワークによる周知広報の対象となります！

厚生労働省と都道府県労働局のホームページに掲載され、社会的認知度を高めることができます

また、認定事業主に限定した合同説明会などを企画する場合があります
御社の魅力を広くアピールすることができ、求職者からの応募の増加が期待できます

● 日本政策金融公庫の低利融資対象となります！

日本政策金融公庫の「働き方改革推進支援資金」の低利融資の対象となります
障害者雇用の取り組みに必要な設備資金や長期運転資金に使用できます
詳細は日本政策金融公庫へお問い合わせください

● 公共調達などの加点評価を受けられる場合があります！

地方公共団体の公共調達および国と地方公共団体の補助事業の加点評価を受ける
ことができる場合があります

詳しくは公共調達などを実施している地方公共団体などにお問い合わせください

など



「認定事業主」になるにはどのような手続きがありますか？

A 都道府県労働局またはハローワークに申請が必要です！

認定の申請は、必要書類を主たる事業所を管轄する都道府県労働局またはハローワークに提出してください。必要書類は厚生労働省ホームページからダウンロードできます。

審査の結果、認定基準を全て満たしていることが確認された場合は、各都道府県労働局から認定通知書を交付します。※詳しい認定基準については裏面をご参照ください

なお、認定審査には3か月ほどお時間をいただいています。

障害者雇用優良中小事業主

検索

(URL) <https://www.mhlw.go.jp/stf/monisu.html>



障害者雇用優良中小事業主の認定基準項目

- ①以下の評価基準に基づき、20点（特例子会社は35点）以上得ること
（取り組み関係で5点以上、成果関係で6点以上、情報開示関係で2点以上を得ること）
- ②法定雇用率を達成していること
雇用義務がない場合でも、雇用率制度の対象となる障害者※を1名以上雇用していること
※就労継続支援A型事業所の利用者は除く
- ③過去に認定を取り消された場合、取り消しの日から起算して3年以上経過していること
- ④障害者雇用促進法と同法に基づく命令その他の関係法令に違反する重大な事実がないこと

※このほかにも条件がありますので、詳細は厚生労働省ホームページをご覧ください。か、都道府県労働局、ハローワークへお問い合わせください。

大項目	中項目	小項目	評価基準	評価点	大項目	中項目	小項目	評価基準	評価点	
取組 (アウトプット)	体制づくり	①組織面	特に優良	2点	成果 (アウトカム)	数的側面	⑪雇用状況	特に優良	6点	
			優良	1点				優良	4点	
		良	2点	良				2点		
		②人材面	特に優良	2点			⑫定着状況	特に優良	6点	
	優良		1点	優良				4点		
	良		2点	良				2点		
	仕事づくり	③事業創出	特に優良	2点		質的側面	⑬満足度、ワーク・エンゲージメント	特に優良	6点	
			優良	1点				優良	4点	
		④職務選定・創出	特に優良	2点				⑭キャリア形成	特に優良	6点
			優良	1点			優良		4点	
		⑤障害者就労施設等への発注	特に優良	2点	良		2点			
			優良	1点	成果関係の合格最低点		6点 (満点24点)			
	環境づくり	⑥職務環境	特に優良	2点	情報開示 (ディスクロージャー)	取組(アウトプット)	⑮体制・仕事・環境づくり	特に優良	2点	
			優良	1点				優良	1点	
		⑦募集・採用	特に優良	2点		成果(アウトカム)	⑯数的側面	特に優良	2点	
			優良	1点				優良	1点	
		⑧働き方	特に優良	2点	⑰質的側面	特に優良	2点			
			優良	1点		優良	1点			
		⑨キャリア形成	特に優良	2点	情報開示関係の合格最低点		2点 (満点6点)			
			優良	1点	合計の合格最低点		20点 (満点50点)			
取組関係の合格最低点				5点 (満点20点)						

この認定制度を通じて、企業の社会的認知度を高めることができるとともに、地域で認定を受けた事業主が障害者雇用の身近なロールモデルとして認知され、地域全体の障害者雇用の取り組みが一層推進されることが期待できます。

また、障害者雇用の促進と雇用の安定を図ることで、組織における多様性が促進され、女性や高齢者、外国人など、誰もが活躍できる職場づくりにつながります。



企業と障害者が、明るい未来や社会の実現に向けて

と も に す す む

という思いをこめて、愛称を「もにす」と名付けました。

詳しくは、都道府県労働局、ハローワークへお問い合わせください。



業種：その他の製造業
 会社概要：文具事務用品製造販売
 代表者：代表取締役社長 大山隆久
 設立：昭和12年2月
 資本金：2,000万円
 従業員：91人 (2021年6月1日時点)
 所在地：川崎市高津区久地2-15-10
 ホームページ：
<https://www.rikagaku.co.jp>

会社のPR情報

昭和12年2月創業。創業よりダストレスチョークやキットパスを中心とした文具・事務用品製造販売を行っています。主力製品であるチョークだけでなく、「キットパスを世界ブランドに！」を合言葉に、人に優しく環境に優しい、未来に続くものづくりをさらに進化/深化させ、お客様に選ばれる商品を世界に広げます。

会社からのメッセージ

昭和35年に2名の知的障がい者を雇用したことがきっかけとなり、現在では全社員のうち約7割が知的障がいのある社員です。

神奈川県川崎市と北海道美唄市に工場があり、製造ラインのすべてを知的障がいのある社員が担っています。

障がいのある社員が、まず今ある能力で仕事ができるように、そして、より能力を高めていけるように、作業方法の工夫・改善をおこない、環境作りに努めています。

障害者雇用への取組の成果 (認定に当たっての評価ポイント)

数的側面		
雇用状況	実雇用率	98.90%
定着状況	過去3年間に採用した障害者の就職1年後定着率	85.7%
	障害者の平均勤続年数	19.9年

障害者雇用への取組の成果 (認定に当たっての評価ポイント)

質的側面

キャリア形成

- ◆ 業務指導の役割を担うリーダーとなる障がいのある社員がいる。
- ◆ 障がいのある社員は、6S委員、副班長、班長、班長リーダーの役職があり、全体の半数近くが役職者となっている。成長に従って、職域も広がり、周りの社員の支援もできるようになっている。班長や副班長は、各部門で朝礼の司会も行っている。
- ◆ 障がいのある社員が、さまざまな製造過程に従事できる能力を身に付けられるように配置転換なども積極的に行っている。
※ 社員全員で5S（整理・整頓・清潔・清掃・習慣）に安全(Safety)を加えた6Sを重視して仕事に取り組んでいる。

障害者雇用への取組 (認定に当たっての評価ポイント)

体制づくり

組織面

- ◆ 社長、常務などトップ自ら障がい者雇用の方針や、社員ひとりひとりの理解力に合わせた工夫をすることなど、雇用理解促進のメッセージを常に発信している。
障がいのある社員は、製造部もしくは営業業務部に所属しているが、他部門の社員も全員3つの6S活動推進チームに所属することで、障がいのある社員と関りをもつ状態になっている。健常者の社員は、チームごとの朝礼に参加し、6S改善活動を共に行っている。障がいのある社員のMVP推薦や、年間表彰などは所属チームごとに推薦をあげ、健常者の社員全員で検討を行っている。
掃除も全社員で、部門に関係なく班分けし、行っている。
障がい者、健常者の区別なくコミュニケーションをとる場になっている。
※ 社員全員で5S(整理・整頓・清潔・清掃・習慣)に安全(Safety)を加えた6Sを重視して仕事に取り組んでいる。

人材面

- ◆ 健常者の社員は入社時の研修で、全現場に入って一通り障がいのある社員が行っている作業を一緒に行い、作業者の活動を経験している。日常的には、健常者の社員全員で、朝礼での情報共有、表彰者の選定などを行っている。6S活動を障害のある社員、健常者の社員全員で行う。
共に仕事を担うことで、仕事を真摯にすすめている社員に対して敬意をもって接することができ、相手の理解力に合わせて工夫することを常に考えることができている。

仕事づくり

事業創出	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 2021年度の経常利益が黒字になっている。(2008年の社長交代時に特別損失を出した時以外は36年税引き前利益を継続中) ◆ 主力製品のチョーク製造だけでなく、あたらしい筆記具(キットパスの開発、製造、普及)や美唄特産品の販売など、常に新しい事業開拓に取り組んでいる。
障害者就労施設等への発注	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 地域の障がい者就労施設に内職などを依頼し、商品生産を支援していただいている。 施設(近隣の作業所)への発注: 2021年実績 約1,000万円

環境づくり

職務環境	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ジグの工夫、シールの貼り方、ガムテープのガイドラインを印刷等、障がいのある社員の理解力に合わせて作業環境を工夫、構築している。 ◆ 社員表彰を毎年行っている。(毎月MVP社員選出の検討を行っている) ◆ 福利厚生として、レクリエーション、社員旅行(コロナ感染防止対策のため、2020、2021年は不実施)を毎年行っている。 ◆ 健康管理として、健康診断後のフォロー(総務による段取り、保護者への声掛け)を実施。 ◆ 民間の保険に入り、社員が病気で入院した際に、補填できるようになっている。(入院時などに損保会社から個人に保険金が支給される仕組み)
募集・採用	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 川崎工場では、地域の特別支援学校、能力開発校などから毎年5名程度実習生(障がい者)を受け入れている。(管理部総務課を実施担当としている) また、県内の特別支援学校の先生の実習受け入れもほぼ毎年行っている。 ◆ 2020年11月、農福一体のソーシャルファームの見学を実施した。 ◆ 川崎工場では自社の障がい者雇用の取り組みについて年間1000人程度以上の見学者を受け入れている。(コロナ感染拡大防止が必要になる前までの期間2019年まで) ◆ 社長大山隆久が随時障がい者雇用に関する講演や、セミナー講師を行っている。2021年実績は13件。
その他の雇用管理	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 障がいのある社員は毎日の目標リストを作成しファイルしている。毎日終業後現場の管理者と目標や生産数量について確認を行っている。 ◆ 健康管理のために、毎日検温と結果の記入を全員が行い、健康管理を行っている。 ◆ 特別支援学校から入社した場合、定期的に出身校の先生に来社いただき、連携しながら職場定着に向けた支援を行っている。(電話でも相談している) 職業能力開発校は、入社後3年間定期的に連絡が来て訪問、支援をしていただいている。